

入学試験問題(小論文) 解答例

問題一 (160字以内)

都市近郊農業とは、都市の周辺で農業を行い、食料を供給することで都市の食卓を支えるものであった。その特徴は、都市で発生する下肥(金肥)と農産物を交換する「循環型農業」だった。その後、都市化によって都市と近郊農業のつながりは分断され、農地が潰されると、都市近郊農業は都市の中に農地が点在する「都市農業」へと姿を変えていった。

(160字)

問題二 (400字以内)

この問題の原因は、土地需要の高まりから宅地開発を優先してしまったことである。これを解消するために、以下の2点を中心に、都市農業に対する緩和政策が必要である。

第一に、東京への人口の集中を解消することが重要である。食料自給率が低いことは、輸送コストなどが反映されることによって価格が高騰する原因にもなるうえ、災害時には食料の供給ができなくなるリスクを抱えている。そのため、地方部に分散して生活ができるよう都市部へのオフィスの集中を避ける条例を作るなどの方法があり得る。

第二に、農地が売却されないようにするためには、税制の見直しや都市農業への優遇に方向転換すべきである。都市農業の従事者だけが税制上厳しい条件を課されることは、地方と比較して不平等である。また、一度宅地化してしまった土地を再度農地開発するためには、大変な労力と時間がかかるため、むしろ簡単に宅地化しないよう経費負担を軽くすべきである。

(398字)